

市民が守り育てた まち並みの物語

まちの魅力伝える物語 (ストーリー)

「日本遺産」とは、地域の活性化を図るため、文化財や伝統文化を語るストーリーを文化庁が認定し、地域における有形無形の文化財群を活用する取り組みを支援するものです。

日本遺産では、このストーリーを通して地域の魅力を国内外に発信することで、より多くの方にまちの良さを知ってもらい、興味を持ってもらうこと、そして実際に来て、見てもらうことを目的としています。

文化庁では、平成32年の東京オリンピック・パラリンピックまでに100件程度の認定を予定しており、現在67件が認定されています。

小樽市日本遺産推進協議会

小樽市日本遺産推進協議会は、経済・観光団体、学識経験者、研究機関、まちづくり団体および行政が連携し、日本遺産を通じた文化財等の活用、商業振興、観光振興、まちづくりに積極的に取り組み、地域活性化を図ることを目的とする会です。会長は小樽市長が務め、3月に第1回の会合を開催し、今後の作業およびスケジュールについて確認する予定です。

また、事業を円滑に推進するため、ワーキンググループを置きます。ワーキンググループは歴史文化基本構想に基づき、ストーリーやタイトルなどを作成する「ストーリー検討グループ」と、日本遺産魅力発信推進事業として行う事業や自主事業を提案する「地域活性化計画検討グループ」に分かれ、申請書取りまとめに向けた作業を進めていきます。

【構成団体】

小樽商工会議所、小樽青年会議所、小樽観光協会、小樽物産協会、小樽市商店街振興組合連合会、北海道中小企業家同友会しりべし・小樽支部、小樽商科大学、北海道中央バス、JR北海道、新日本海フェリー、歴史文化研究所、小樽・朝里のまちづくりの会、北海道鉄道文化保存会、北海道建築士事務所協会小樽支部、学識経験者、小樽市教育委員会、小樽市

日本遺産の申請と認定後の取り組み

市は、歴史文化基本構想を参考にしながら、ストーリーの構成や認定後に実施する地域活性化計画を練り上げるため「小樽市日本遺産推進協議会」を設置します（上の囲みを参照）。

今後、協議会内にワーキンググループを置き、ストーリーの内容を協議し、地域型日本遺産の申請に向け、取り組みを進めていきます。なお、申請は32年1月ごろを予定しています。

「炭鉄港」については、30年に設置された炭鉄港推進協議会に小樽市も加入し、ストーリーや地域活性化計画について協議を重ね、日本遺産申請

書を作成しました。

申請書は1月に文化庁へ提出されており、現在は審査中です。4月ごろに文化庁から発表があり、認定となった場合は、協議会の地域活性化に係る事業に取り組んでいきます。

北前船については、小樽市の独自事業を継続して行うほか、北前船日本遺産推進協議会が実施するさまざまな事業に協力していきます。

また、10月には北前船寄港地の連携や交流による地域活性化を目的とした「北前船寄

港地フォーラム」を石狩市と共同で開催します（左の囲みを参照）。

※ ※ ※

市は、行政間はもちろん、民間企業や団体との連携を密にしなが、日本遺産申請・認定を目指すとともに、すでに認定されている日本遺産の地域活性化事業にも、積極的に取り組んでいきます。

◆お問い合わせは、産業港湾部日本遺産等担当 ☎ 4111
1 内線 319、☎ 37432
2 へどうぞ。

「炭鉄港」の認定を目指して

炭鉄港とは、近代北海道を築く基となった空知、室蘭、小樽を、「石炭」「鉄鋼」「港湾」そしてそれらを結んだ「鉄道」をテーマに、人と知識の新たな動きを作り出そうとする取り組みで、平成22年から続けられてきました。

炭鉄港のネットワークが、特に明治期の北海道開拓に果たした役割は計り知れません。人口500万人を超える今日の北海道での、私たちの豊かな暮らしは、炭鉄港の延長線上にあるのです。

（空知総合振興局作成「北海道と薩摩が育てた炭鉄港。産業遺産の物語」より一部抜粋）

炭鉄港ストーリーの日本遺産申請に向け、小樽は、空知で産出された石炭の積み出し港としての役目を担っており、旧手宮鉄道施設（国指定重要文化財）や小樽港北防波堤などを構成文化財として提出しています。

めざせ日本遺産！炭鉄港セミナー in 小樽
3月3日(日)の午後2時から、運河プラザで開催します。空知、室蘭、小樽の炭鉄港に関わる方たちの講演やパネルディスカッションのほか、中庭で石炭ストーブをたく実演も行います。皆様のご来場をお待ちしています。※会場には駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。
☎ 詳細 小樽観光協会 ☎ 2510、☎ 0522



「北前船」を観光・まちづくりに活用

市内で開催されるイベントでパネル展を実施しているほか、新日本海フェリーの舞鶴～小樽間で北前船船上講座を開催予定です。



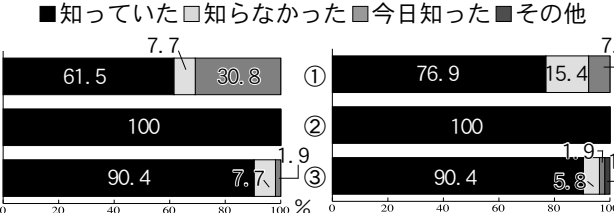
第28回北前船寄港地フォーラム in 北海道小樽・石狩
10月19日(土)・20日(日)に石狩市と共同で北前船寄港地フォーラムを開催します。10月19日(土)に小樽で「全国北前船研究交流セミナー」を行い、10月20日(日)に北前船ゆかりの場所を巡るエクスカーション(体験型見学会)や、石狩市でフォーラムを行います(詳しくは本誌10月号でお知らせします)。

アンケート結果

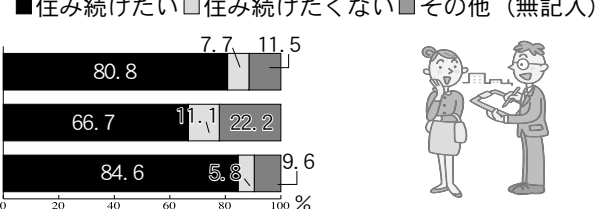
日本遺産について、イベント参加者の皆さんにお聞きしました。

- ①小樽アニメパーティー 2018
とき 平成30年9月1日・2日 / 回答数 26枚
- ②北前カフェ～アートストリート in 都通2018
とき 平成30年9月15日～17日 / 回答数 9枚
- ③日本遺産認定記念シンポジウム「知ることがはじまり～北前船寄港地・小樽」
とき 平成30年9月30日 / 回答数 52枚

Q.日本遺産という制度を知っていましたか



Q.小樽(あなたのまち)に住み続けたいと思いますか



アンケートでのご意見

- ・どうしたら若い人が小樽に住んでくれるのか。人口減は寂しい。町は住みやすく、歴史的建造物など小樽のことを知りたいと思う
- ・日本遺産が一過性のものとならないよう、経済、産業の底上げとなるような事業になってほしい
- ・他都市の観光地を歩いていて、人との触れ合いが印象を左右すると感じている